

第 16 回（2019 年度）龍谷大学スペイン語暗誦コンテスト

中級の部課題①

“Volverán las oscuras golondrinas”

Gustavo Adolfo Bécquer

Volverán las oscuras golondrinas
en tu balcón sus nidos a colgar,
y otra vez con el ala a sus cristales
jugando llamarán.

Pero aquellas que el vuelo refrenaban
tu hermosura y mi dicha a contemplar,
aquellas que aprendieron nuestros nombres....
ésas... ¡no volverán!

Volverán las tupidas madreselvas
de tu jardín las tapias a escalar
y otra vez a la tarde aún más hermosas
sus flores se abrirán.

Pero aquellas cuajadas de rocío
cuyas gotas mirábamos temblar
y caer como lágrimas del día....
ésas... ¡no volverán!

中級の部課題①

"暗いツバメが戻ってくる"

グスタボ・アドルフォ・ベッケル

暗いツバメが戻ってくるのに
あなたのバルコニーに巣をつくるために、
そしてふたたび翼でガラス窓を
小突いて呼び寄せるのに。

それなのに、飛ぶのを邪魔したもの
あなたの美しさとそれに見とれる私の喜び、
私たちの名前を覚えた人たちがいて...。
ツバメは... もう戻ってこない!

濃く茂ったスイカズラが戻ってくるのに
あなたの庭から壁を登るために
そしてふたたび午後にさらに美しい
その花が開くのに。

それなのに、露でいっぱいのもの
その滴が震えるのを私たちは見ていた
そして、日の光の涙のように落ちるのを...。
スイカズラは... もう戻ってこない!

グスタボ・アドルフォ・ベッケル（1836－1870）は、スペインの詩人、散文作家。抒情詩に優れ、スペインの国民的詩人とされる。健康と家庭に恵まれず、不遇の生涯を送った末に夭折。死後に唯一の詩集『抒情詩集』を遺した。ベッケルの生きた 1850 年代は、ハインリヒ・ハイネに代表されるドイツ抒情詩をスペイン詩に導入しようとする動きがあった。そのため従来は、ベッケルはハイネなどの模倣と見做されることもあったが、派手な修辭法を一切取り除き、繊細な感受性、伝統的な民衆詩に連なる簡素な詩形と哀愁に満ちた深い主観主義はベッケル独特の世界であり、ドイツの影響というよりベッケル自身の卓越した感性から創出されたものである。

中級の部課題②

“Qué Será”

José Feliciano

Pueblo mío que estás en la colina
tendido como un viejo que se muere
la pena y el abandono,
son tu triste compañía
pueblo mío te dejo sin alegría

Qué será, qué será, qué será
Qué será de mi vida, qué será
si sé mucho o no sé nada
ya mañana se verá
y será, será lo que será

Ya mis amigos se fueron casi todos
y los otros partirán después que yo
lo siento porque amaba su agradable compañía
mas es mi vida y me tengo que marchar

Qué será, qué será, qué será
Qué será de mi vida, qué será
en la noche mi guitarra
dulcemente sonará y una niña
de mi pueblo llorará.

中級の部課題②

「ケ・セラ」

ホセ・フェリシアーノ

僕の村、おまえは丘の上にある
死んだ老人のように横たわっている
悲しみとあきらめ
それがおまえの悲しい同伴者
僕の村、僕はおまえを喜びもなく後にする

ケ・セラ、ケ・セラ、ケ・セラ
僕の人生はどうなるのか、どうなるのか
僕が多くを知っていようが、何も知るまいが
明日になればわかるだろう
そして、なるようになるだろう

もう友達ほとんど出て行った
そして、残りも僕の後に出て行くだろう
彼らと過ごすのを愛していたから心残りだ
しかし、これは僕の生き方、行かなくては

ケ・セラ、ケ・セラ、ケ・セラ
僕の人生はどうなるのか、どうなるのか
夜に僕のギターが
甘く鳴り響き、女の子は
僕の村で泣くだろう。

ホセ・フェリシアーノ（José Feliciano 1945 年 9 月 10 日 - ）はプエルトリコ出身の歌手、ギタリスト。プエルトリコのラレスに生まれた。緑内障のため生後まもなく失明したが、盲目のハンディキャップを乗り越え世界的なヒット曲を数多く手がけた。スパニッシュ・ギターの名手でもある。1970 年に発表された「Feliz Navidad」は米国およびスペイン語圏でもっともよく聴かれるクリスマス・ソングのひとつとなっている。1971 年のサンレモ音楽祭に参加した際にイタリア語で歌った「Che sarà」（ケ・サラ、スペイン語版では"Qué será"、ケセラ）が世界的にヒット。日本でも岩谷時子や西村義明の訳詞で広く知られるようになった。